



外を見て、内を知る。  
 瀬谷とリヨンの中学生が、  
 オンラインでつながりました。

# SEYVA 65周年 ONLINE

姉妹都市  
 提携

## フランス文化講座

2024.02.28



①まずはすぐに使える仏語レッスンから。②横浜日仏学院館長が登場！フランスの文化や魅力をぎゅっと紹介。③双方に在住経験のある竹上さんは、日仏の価値観のちがいをやさしく解説。④リパユオーナーの砂川さんは、リヨンの特長や食文化を紹介。⑤最後はみんなでリヨン伝統料理「セルヴェル・ド・カニュ」などを試食。ハーブとニンニクが効いていて、大人気でした！

### 楽しく深める、知識と興味。

交流に先立ち、フランス政府の公式文化教育機関「横浜日仏学院」によるフランス入門講座や、市内フレンチレストラン「リパユ」オーナーによる食の都・リヨン講座など、交流への意欲を高める事前研修を開催。

中学生のリヨンとの出会いを、日仏をつなぐキーパーソンの方々に楽しく・美味しく・手厚くサポートいただきました。

## 瀬谷とリヨンの、絹の縁。

リヨンは、絹と美食で知られるフランス第二の都市。古くから絹織物産業が発展していましたが、19世紀に欧州でカイコの病気が広まり、絹の入手が困難に。その危機を救ったのが、横浜港から輸出された日本の生糸。絹がとりもつ縁によって友好関係を築いてきた両市は、1959年に姉妹都市の提携に至り、2024年に65周年を迎えました。そして瀬谷区は、かつては絹の一大生産地。絹の縁で結ばれた瀬谷とリヨンが、百年の時を超えてつながります。

Prologue

## オンライン交流

①2024.03.06 ②2024.03.13

リヨンの学生は、特技のヨーヨーを披露！



横浜の歴史を知ってもらうため、開港記念日を紹介。学校も休みになると説明したら、リヨンから「ずるい！」の声が。

能登半島地震を受け、日本の防災も紹介。フランスでは初めて聞く内容だったようで、とても真剣に聞いてくれました。



瀬谷のマスコットはどれ？  
 せやまるくんは当ててもらえず...

## 気づきと学び、そして成長。

ジルベール・シャブロー中学校の日本語クラスとオンラインでつながり、おたがいのまちや学校生活を紹介するなど、様々なテーマでお話ししました。

似ていることもあれば、ちがうこともある。短い時間の中で、たくさんの共感と驚きがありました。

また、最初は控えめだった瀬谷の学生たちも、2回目は自分から発言できるように！国際交流は、自分を発信することから始まる。学生たちの成長も見られる交流となりました。

協力 横浜日仏学院  
 フランス料理リパユ  
 横浜リヨン友好委員会  
 竹上 沙希子（通訳/翻訳家）

主催 瀬谷区地域振興課